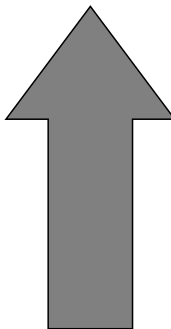


●関係法規 ○日本国憲法・教育基本法 ○学校教育法・学習指導要領 ○その他の関係法規 ○東京都の教育目標 ○小平市の教育目標	●学校の教育目標 「敬愛」…「生命の尊さ」を一人一人が心に受け止め、お互いに敬愛の念をもって助け合い、励まし合って生活する生き方 「勤勉」…人には優しく、自分には厳しく、仕事や勉強に最善を尽くして努力し、自分の行動に積極的に責任をもつ生き方 「創造」…自ら学ぶ意欲をもち、個性豊かな自己実現に向けて、人間としてより価値のあるものを創造していく生き方	●地域、保護者の願い ○自主的に学習する態度を養う。 ○思いやりのある心を育む。 ○世の中に貢献する人間を輩出する。 ●生徒の実態 ○明るく元気である。 ○学習意欲がある。 ○積極性やリーダーシップをさらに伸ばすことが課題である。 ●教師の願い ○自ら学び、自他を尊重して生きる人間を育てたい。 ○根気強く取り組む姿勢を養いたい。
--	--	--

●各教科の指導の重点 ○理解しやすい授業展開の工夫・改善に努める。生徒一人一人のよさを生かし、基礎・基本の定着を図る。数学・英語では、少人数・習熟度別指導を行う。また、学校経営協議会と連携して、個別の支援や授業や実習のサポートを導入する。 ○豊かな感性や想像力、表現力の育成を図り、情操豊かな人間を育てる。 ○全学年で朝読書の充実に努め、授業での言語活動の充実と生活習慣づくりにつなげる。 ○各教科においてデジタルを利活用した授業を展開し、生徒が自ら学ぶ方法を選んだり、一人または複数で課題を解決したりできる環境を作る。	●道徳教育の重点 ○豊かな心の育成を重視し伝統と文化を尊重し、情操豊かな人格を形成する教育を推進する。 ○道徳教育推進教師を中心として、校内研修体制を充実させ、全体計画の評価・改善に関わる全教員の共通理解を図る。 ○自他の生命の大切さや生きることの素晴らしさを自覚させ、自然や生命への畏敬の念を育成する。 ○道徳の時間においては、教科書を中心に22項目を実施し、人間としてよりよい生き方を求める心を育てる。また、生徒の状況に応じた指導方法を工夫し、自ら考え実践する態度を養う。 ○思いやりや公德心などを養い、主体的に生きる力や態度・能力を育成するとともに人権意識を育成する。
●生活指導の重点 ○全教員の共通理解を深めるとともに、指導体制を確立し、家庭や地域社会との関わりを大切にしながら、一貫した指導方針で共通実践を図る。 ○自主的な集団生活を支援しつつ、健全な判断力をもち、自治活動に取り組む能力を育てる。 ○集団生活の中で規範意識を高め、基本的生活習慣を身に付けさせる。 ○問題行動を事前に防止する指導を心がけ、家庭や地域との連携を図る。 ○いじめや不登校生徒などの早期発見に努め、スクールカウンセラーなどとの連携を密にし、教育相談的な活動を充実させ生徒の自己実現への努力を組織的に支援する。	●特別活動の重点 ○生徒会活動・学級活動を通して、社会参画の意識を高める。集団の一員として課題を解決するために話し合い、合意形成し、意思決定ができる集団を育てる。 ○学級の話合い活動を充実させ、各行事に向けて合意形成を積み重ねて、自他を認め、自己を生かそうとする態度を養う。 ○生徒の主体的な活動を伸長するため、生徒会や委員会の活動を尊重し、生徒主導の全校集会、学年集会を実施する。 ○学校経営協議会と連携し福祉に関連する活動を積極的に取り入れる。 ○人と人との心の交流を深め、自立と人間愛の精神を養う。

●総合的な学習の時間の指導の重点 ○課題解決学習や体験型の学習を充実させ、生涯にわたってたくましく豊かに生きるための実践力やコミュニケーション能力を育成する。 ○小・中連携教育の機会を生かし、生徒・児童の交流を図り、キャリア教育につながりをもたせる。 ○様々な教育活動を通して、社会性を身に付けさせ、将来の生き方を考えさせる。 ○広く社会や世界に目を向かせるとともに、地域の文化や人材も積極的に取り入れる。		●進路指導の重点 キャリア教育の視点に立ち、各教科等との関連を重視し、3年間を見通した指導計画に基づき、進路選択能力を育成し、自己の生き方について考える力を養う。 ○自己の能力や適性を理解し、自己実現の能力を養う。 ○職場体験等を通して、人の生き方について学び、社会に貢献する人間としての素養を育む。 ○勤労観や職業観を育て、将来の道を選ぶ進路選択能力を育成する。 ○体験的な活動を重視し、自分の未来の目標に向かって計画的に実行できる生徒の育成に努める。
--	--	---

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究・研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携
○各教科においてデジタルを利活用した授業を展開し、生徒が自ら学ぶ方法を選んだり、一人または複数で課題を解決したりできる環境を作り支援する。 ○対話的で協働的な学習を単元や教材に応じて実施する。 ○学校経営協議会と協力し、定期考査前の放課後や土曜日、長期休業中に学習教室を開く。	○授業時数の確保を念頭において教育計画を立て、実践する。 ○時間割の編成を工夫して、教科の偏りのない授業実践を行う。	○特別活動の充実を踏まえた全教員の授業力向上を目指し、共通実践、指導の工夫についての研修を重ねる。 ○対話的で協働的な学習活動と課題解決学習が授業で実践できるように有効なツールの研修を重ねる。 ○各教科の部会を充実させ、情報を共有する。	○年間指導計画を基礎にして、より分かりやすく、生徒のやる気を引き出す評価の在り方を探っていく。そのために、生徒や保護者による授業評価や学校評価を行い、教育活動に反映させていく。	○学校経営協議会と連携・協力し、家庭学習及び家庭教育を支援する。 ○学校経営協議会と連携・協力し、進路学習等で地域の教育力の援助を求める。